

河川水質の放射性物質濃度の調査結果(R3.6.23)

№	採取地点		採取日	天候	気温 (°C)	水温 (°C)	全水深 (m)	採取 位置	透視度 (cm)	放射性物質濃度 (Bq/L)		
	河川名	地点名								放射性ヨウ素	放射性セシウム	
										I-131	Cs-134	Cs-137
1	関山川	深田橋	R3.6.23	晴れ	24.1	22.5	0.20	全層	50<	不検出	不検出	不検出
2	境川	境橋	R3.6.23	晴れ	24.8	21.5	0.23	全層	50<	不検出	不検出	不検出
3	八反川	竹の内橋	R3.6.23	晴れ	23.2	19.2	0.32	全層	50<	不検出	不検出	不検出
4	江戸上川	第一神岡橋	R3.6.23	晴れ	25.0	20.6	0.26	全層	50<	不検出	不検出	不検出
5	根古屋川	根本橋	R3.6.23	晴れ	23.5	23.0	0.30	全層	50<	不検出	不検出	不検出
6	木皿川	大塚川合流点下流	R3.6.23	晴れ	23.2	20.5	0.45	全層	50<	不検出	不検出	不検出
7	塩田川	新橋	R3.6.23	晴れ	22.1	22.6	0.27	全層	50<	不検出	不検出	不検出

※放射性物質濃度の測定方法：ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法

※放射性物質濃度について、検出下限値（1Bq/L）以下のものは不検出と記載しています。

河川底質の放射性物質濃度の調査結果(R3.6.23)

No	採取地点		採取日	天候	気温 (°C)	水温 (°C)	全水深 (m)	採取深 (cm)	性状	放射性物質濃度 (Bq/Kg) 乾泥		
	河川名	地点名								放射性ヨウ素	放射性セシウム	
										I-131	Cs-134	Cs-137
1	関山川	深田橋	R3.6.23	晴れ	24.1	22.5	0.20	5	砂	不検出 (検出限界値:8.0)	不検出 (検出限界値:8.6)	31
2	境川	境橋	R3.6.23	晴れ	24.8	21.5	0.23	5	砂	不検出 (検出限界値:7.0)	不検出 (検出限界値:7.6)	38
3	八反川	竹の内橋	R3.6.23	晴れ	23.2	19.2	0.32	5	小石 混砂	不検出【不検出】 (検出限界値:7.9【5.6】)	不検出【不検出】 (検出限界値:7.9【5.7】)	47【33】
4	江戸上川	第一神岡橋	R3.6.23	晴れ	25.0	20.6	0.26	5	小石 混砂	不検出 (検出限界値:8.8)	不検出 (検出限界値:7.8)	91
5	根古屋川	根本橋	R3.6.23	晴れ	23.5	23.0	0.30	5	小石 混砂	不検出 (検出限界値:7.1)	不検出 (検出限界値:6.1)	42
6	木皿川	大塚川合流点下流	R3.6.23	晴れ	23.2	20.5	0.45	5	小石 混砂	不検出【不検出】 (検出限界値:7.0【5.6】)	不検出【不検出】 (検出限界値:7.1【5.7】)	39【31】
7	塩田川	新橋	R3.6.23	晴れ	22.1	22.6	0.27	5	砂	不検出 (検出限界値:7.0)	不検出 (検出限界値:6.8)	67

※放射性物質濃度の測定方法：ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法

注1) 放射性物質濃度の【 】内の数値は、水分補正を実施していない状態（原体）での放射性物質濃度を記載しています。

河川周辺環境土壌の放射性物質濃度の調査結果(R3.6.23)

№	採取地点		採取日	天候	採取深	性状	採取位置	放射性物質濃度 (Bq/Kg) 乾			空間線量 (μ SV/h)
	河川名	地点名						放射性ヨウ素	放射性セシウム		
								I-131	Cs-134	Cs-137	
1	関山川	深田橋	R3.6.23	晴れ	5 cm	砂質	左岸	不検出 (検出限界値:8.5)	不検出 (検出限界値:8.2)	170	0.05
5	根古屋川	根本橋	R3.6.23	晴れ	5 cm	壤質+砂	左岸	不検出 (検出限界値:8.8)	不検出 (検出限界値:9.7)	130	0.06
6	木皿川	大塚川合流点下流	R3.6.23	晴れ	5 cm	壤質	左岸	不検出 (検出限界値:9.7)	不検出 (検出限界値:9.6)	130	0.07
7	塩田川	新橋	R3.6.23	晴れ	5 cm	壤質	左岸	不検出 (検出限界値:7.7)	不検出 (検出限界値:8.2)	89	0.05

※放射性物質濃度の測定方法：ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法

※空間線量は、日立アロカメディカル製TCS-172Bを使用し、地上1mでの測定値を記載している。

※№9地点は、H28.7.25の調査まではほぼ同じ地点での採取であったが、河川敷の土が流され岩石のみとなったため、H29.1.26の調査ではそれ以前の調査地点より50m程度下流側に移動している。また、H29.7.19以降の調査では、河川敷の形態の変動により堤防法面での採取となっている。